

# 百万遍大念珠繰り御和讃

高 津 ときを 作詞  
松 濤 基 作曲

♩ = 60

*mf*



○ × ×      ○ × ×      ○ × ○ × ○ × ×

ひやくま      ーんべんの      じゅーず      を   くー   る      あな  
き らめ      ーくりけん      みょーう      ー   ごう は      しゅー



○ × ×      ○ × ×      ○ × ○ × ○ × ×

た      は   うえーん      の   ど   う   ーぎょ   うーしゅ  
ら      の   やみーじ      を   き   り   ーひ   らーき

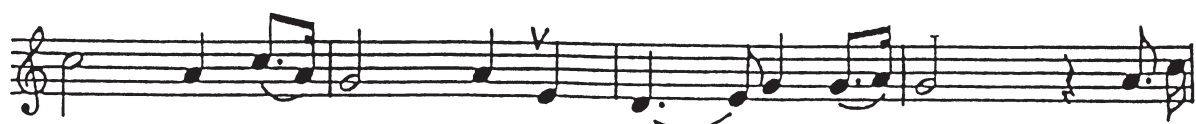
*mp*

*mf*



×      ×      ×      × ○   ×      ×      ×      ×

な むのひ とこえ ともにして      あ すは浄 土のたびな かま } な む  
な やみくるしみ かなしみの      む ねにげだつのひをとす }



⊗ ⊗ ⊗      ⊗ ⊗ ⊗      ○ × ○ × ⊗ ⊗ ⊗  
あ      み      だーぶ      つ      あ      み      ーだ      ぶーつ      なむ



⊗ ⊗ ⊗      ⊗ ⊗ ⊗      ○ × ○ × ⊗ ⊗ ⊗  
あ      み      だーぶ      つ      あーみ      ーだ      ぶーつ

**ポイント注意** 明るくリズムカルに。アフタクト（弱起）の曲の特長を生かしてお唱えしましょう。

「なむのひとこえ」以下は特にリズム軽やかに、「お念仏」は躍動して「あみだぶつ」は大きく力強くまとめます。

（歌詞は98ページ）

## 百万遍大念珠繰り讃

高津 ときを 作詞

- 1 百万遍の 数珠を繰る  
 あなたは有縁の 同行衆  
 南無のひと声 共にして  
 あすは浄土の 旅仲間  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 2 きらめく利剣 名号は  
 修羅のやみ路を 切りひらき  
 悩み・苦しみ・悲しみの  
 胸に解脱の 灯をともし  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 3 親珠子珠 千八十  
 つらなり光る 大念珠  
 縁の糸を 芯にして  
 人のこころを 輪に結ぶ  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 4 日課念仏 唱えつつ  
 つもる功德の ありがたさ  
 一つ繰っては 父母のため  
 二つ繰っては 子の回向  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 5 先祖供養の ご利益は  
 この世あの世に 広がって  
 死ぬも生きるも 弥陀まかせ  
 念珠繰る手に 花が咲く  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

※  
(音譜は  
94ペ  
ージ)

## 金光上人讃仰和讃

高津 ときを 作詞

- 1 津軽の里の 飢え寒さ  
 吐血の病に 倒れつつ  
 陸奥の土地みな 浄土化を  
 祈り求めし 聖あり
- 2 名は石垣の 金光房  
 法然上人を 師と仰ぎ  
 二祖聖光と 並び立つ  
 高德英智の 行脚僧
- 3 花洛をあとに 蝦夷地もと  
 奥州行化の 死の旅路  
 悲願のはては 行丘山  
 馬捨の森の わび住居
- 4 耳には罵詈の 阿呆唄  
 身には瓦石の 降るなかを  
 不軽大士も さながらの  
 苦難に耐えて 法を説く
- 5 ああ殉教の この聖者  
 七亡八起 闘いて  
 建保の春に 逝きしより  
 今に七百 七十年
- 6 南無や尊き そのみあと  
 野辺の夕陽も 金光の  
 いのちとばかり 輝きて  
 とわにわれらを 照らすなり  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏  
 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

※  
(音譜は  
96ペ  
ージ)